

大学の世界展開力強化事業 取組実績 政策研究大学院大学

【構想の名称】(タイプA-I CAMPUS Asia Pilot Program)

北東アジア地域における政策研究コンソーシアム

【プログラムの目的・養成する人材像】

科学的合理性に根ざした現実的課題解決能力という個人的能力を涵養する一方で、学生同士が同じ科学的合理性を共有することを通じて真に相互信頼できる人的ネットワークを形成させて組織的能力も高める。これにより、日中韓の政策立案・管理運営能力の高度化と、アジアと世界の知的ネットワークにおけるハブを形成する。

【構想の概要】

韓国KDIスクールと清華大学公共管理学院との間で、大学院レベルのダブルディグリーや単位互換制度を利用した留学生交流を行う。本学を含めて3大学ともに、政府機関・民間企業の中核的なミッドキャリア職員を学生として受け入れており、彼らに対して社会科学を中心とした国際水準の公共政策家教育を行う。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ KDIスクール及び清華大学との間でダブル・ディグリー及び単位互換制度についての詳細の検討

平成24年秋からの本格的な学生交換の開始を目指して、3学間での単位・学位認定方式についての枠組みを決定し、受入れスケジュールについても可能な限り柔軟に対応できる形で決定した。

○ 学生交流の促進のためのサマー・プログラムの検討

単位互換の形での学生交流を、長期的なものだけでなく比較的短期的なものでも実現できるように、サマー・プログラム形式での教育に関する取り組みについて検討することにした。平成24年の夏学期期間に、KDIスクールで開催することを協議した。

■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈 Ph.D. Seminarの様子:KDIスクール 〉



■ CAMPUS Asia Ph.D. Seminarを開催 (ソウル・KDIスクール)

平成24年3月14日、韓国・KDI School(KDIS)においてOne-day Seminarを開催しました。GRIPS Ph.D.学生4名がKDISの教員・学生を聴衆として研究報告を行いました。KDISの学生と活発な意見交換や質問が飛び交い、プレゼン時間を短縮し、ディスカッションに時間を割くなどの工夫が必要なほど非常に活気のある内容となりました。

また午後から園部GRIPS教授による開発途上国の生産性に関する特別講義が行われ、教員・学生間で活発な質疑があり、非常に有意義なものとなりました。

〈 One-day Seminarの様子:清華大学 〉

■ CAMPUS Asia One-day Seminarを開催 (北京・清華大学)

清華大学(北京)にてOne-day Seminarを平成24年3月28日に開催しました。中国のNGO研究の第一人者でもある清華大学Wang教授より、“The Development of China's NGO and the research of the NGO Institution”というタイトルで、中国のNGOの発展と現況についての講義頂きました。さらに、清華大学のXing助教授からは“Public Policy Formulation Process in China: 12th Five-year Plan as an Example”というタイトルで、中国の国政と5か年政策について非常に詳細な講義を受けました。参加した学生には中国の政治について理解を深める良い機会となり、講義後には日本の政策決定過程と中国の政策決定過程の相違点などを活発に議論が行われました。

キャンパスアジア第1号学生としKDIS(韓国・ソウル)から清華大学に派遣されているKyun Heo氏や清華の学生を交えてのキャンパスツアーや清華大学での留学生活の紹介なども行われ、学生同士の交流も深まりました。



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

上記、KDIスクール(韓国)及び清華大学(北京)での短期研修開催による派遣。

○ 外国人留学生の受入れ

受入れ実績はまだなし。平成24年度秋より受入れ予定。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本への受入	C0, K0	C5, K5	C5, K5	C5, K5	C5, K5
中国への受入	J7, K1	J5, K5	J5, K5	J5, K5	J5, K5
韓国への受入	J9, C0	J5, C5	J5, C5	J5, C5	J5, C5

注)H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 学生説明会を開催

本学の学生にキャンパスアジアを周知し、留学候補生の選出することを目的に、学生説明会を開催しました。

○ キャンパスアジア委員会を発足しました

本学研究支援科長を始めとした教授陣5名で形成するキャンパスアジア委員会を発足し、懸案事項の迅速な検討・解決を目指します。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ キャンパスアジアホームページを立ち上げました

<http://www.grips.ac.jp/jp/campusasia/>